

ルールを守って楽しい花火

子供たちにとって夏の楽しみ『おもちゃ花火』

『おもちゃ』とはいえ、花火には火薬が使われています。誤った使用方法や使用後の不始末により、ヤケドや火災に発展することがあります。ルールを守って安全に花火を楽しみましょう。



火災予防の注意点

- ① 強風時などは花火をしない。
風の強い日は火の粉が風に流されて大変危険です。風の方向や衣類にも気をつけましょう。
- ② 花火をする前にバケツと水を用意しましょう。
万が一燃え移った時のことを考え、バケツに水を入れ消火の準備をしましょう。
また、残り火にも危険がありますので、終わった花火は水につけておきましょう。
- ③ 花火は燃えるもののない広い場所で遊びましょう。
思わぬものに着火し火災になる場合があります。特に飛しょうする花火に注意しましょう。
- ④ たくさんの花火に一度に火をつけない。
1本では安全な花火でも、数本まとめて火をつけると大きな炎になり大変危険です。
必ず1本ずつ遊びましょう。

SFマーク

公益社団法人日本煙火協会では、火薬類取締法に適合しているか検査する『基準検査』実際に着火して検査をする『安全検査』を行っています。
そうした厳正な検査に合格した花火にはSFマークが貼付されております。



公益社団法人日本煙火協会では、花火を安全に楽しむためにSFマークが貼付された花火を購入することを推奨しています。

最後に・・・

花火遊びが迷惑行為にならないために、時間と場所に気をつけましょう。
深夜の花火遊びや後かたづけなど、周辺住民等にとって迷惑問題が深刻化しています。
ルールとマナーを守って、子供たちに『正しい遊び方』を教えながら、おもちゃ花火を楽しみましょう。